



○大人の言葉は子どもの見本

雄武町立沢木小学校長 千葉 勝志

子どもに向けて言葉を発する大人は様々いますが、一体子どもに最も大きな影響を与える大人は誰でしょうか。私は親と教師を真っ先に挙げます。特に、親は子どもと最も多くの時間を過ごし、子どもの人格形成に大きな影響を与えます。「子どもは親の後ろ姿を見て育つ。」「子どもは親の鏡である。」などの言葉は、いずれも親の影響がいかに大きいかを物語っています。子どもは生まれてから、まず親から言葉を習得します。やさしい言葉づかいをする親からは、やさしい言葉づかいをする子どもが育ちます。乱暴な言葉づかいをする親からは、乱暴な言葉づかいをする子どもが育ちます。親の言葉は、意識するしないに関わらず、常に手本として学ばれているのです。挨拶の仕方や返事の仕方など、子どもが幼ければ幼いほど、親のするとおり、親の言葉どおり身につけていくものです。教師の言葉づかいも、また同様です。

子どもは学校から帰ると、「ただいま！」と挨拶をするでしょう。それに対して「おかえりなさい。」というやさしい対応があれば、子どもの心はそれだけで和みます。すると、子どもは次から次へと学校の出来事を話すでしょう。その場合も、「そうだったの。」「よかったわねえ。」「おや、おや…。」「それでどうなったの？」というように、受容的な言葉で対応したら、どんなに子どもは喜ぶことでしょう。そのような、一見何のことはない日常的な言葉のやりとりの中から、子どもは知らず知らずのうちに、対応の仕方や人の話の聞き方を身につけ、同時に感情豊かで円満な人柄を形成していきます。反対に、「あ、そう。」「ちょっと忙しいのよ。」というような言葉であしらわれたとしたら、子どもの豊かな心はしぼみ、閉鎖的で内向的な性格になっていくおそれがあります。親の言葉というものは、それほどまでに、子どもの人格形成にとって大切な役割を果たしているのだと思います。教師の言葉づかいも、また同様です。

さて、毎年、いじめアンケートを実施していますが、小学生に多い項目は「冷やかしかからかい」「悪口や脅し文句」「嫌なことを言われる」の3つです。昨今はオンラインゲームなど、SNS上でも心無い言葉づかいが問題になっています。

子どもの言葉づかいは、周囲の環境から大きな影響を受けます。子どもを取り巻く環境を、今一度見直してみてはいかがでしょうか。家庭での「会話」や学校での「会話」「メディアとの接し方」「交友関係」など、様々な角度から気になる言葉づかいを聞いたときは、機を逃さず、その場で改めるように声かけをお願いいたします。良い言葉に囲まれた環境で育つことで、子どもたちは自然と豊かな言葉を身につけていきます。



デジタル教材と子供たち

あるとき、デジタル教材を使って算数の問題に取り組んでいた3年生が、どうしても正解に辿り着けない悔しさに泣き出してしまった場面がありました。すると同じくタブレットで学習をしていた4年生の男の子達が「どうした、どうした？」と駆け寄ります。「そういえば、これ去年やったなあ」「確かこうだったはず。」と涙を拭う後輩を取り囲んで一緒に学習を始めます。数分の格闘の末、正解を導き出したときには、その場にいた全員が笑顔になっていました。

3年生にとっては、できなかったことができるようになった成長の機会、4年生にとっては前年度の復習の機会となりました。でも、それよりも大きな収穫は、クラスメイトに助けってもらった嬉しさと、涙を流す友達に笑顔をプレゼントできた喜びだったのかもしれません。学び合い、支え合いの風土は今日も子どもたちの確かな学力と豊かな心を育てているようです。デジタル教材の效能です！

1年生を迎える会

世の中には、与える人(giver)と、受け取る人(taker)の2者がいて、我々はその両方を行ったり来たりしています。

「では、与え続ける人と、受け取り続ける人がいたとして、どちらの方が幸せになるだろう？」そう子どもたちに問いかけてみると、多くの子が前者を選択しました。

1年生を迎える会では、上級生のメンバーが4月に入学した4名の1年生を歓迎すべく、多種多様なイベントやプレゼントを準備して当日に臨みます。「与えることは最良のコミュニケーションである」という言葉を聞いたことがあります、歓声や笑い声に包まれた体育館には、正にそれを体現する子どもたちの姿がありました。

上級生たちの温かい思いに応えるべく最後にお礼を伝えた1年生。きっと来年の今頃は彼らもgiverとして新入生を迎える側に立つことになります。大きく成長した姿を見るのが今からとても楽しみです！



沢木太鼓 ～結果よりプロセス～

金曜日の朝は太鼓の練習から学校の1日がスタートします。入学式や運動会、おうむ産業観光まつりと目標の場を設定しながら腕を磨く子どもたち。その気迫に満ちた重低音は体育館から学校中へと伝わってきます。もちろん、タイミングが合わずに苦勞する場面、上手くできない苛立ちから練習の士気が下がってしまう場面もありますが、そこは上級生がリーダーシップを取って下級生を引っ張ります。

下級生は、そんな頼もしい高学年の背中に感化されながら、太鼓の技術だけでなく精神的な強さも身に付けているようでした。脈々と受け継がれてきた沢木太鼓は本校の大切な伝統文化として、今日も彼らの心を豊かに育てています。直近の発表は6月7日の運動会。当日はぜひこうしたプロセスも踏まえ、子どもたちの頑張りに拍手や応援を送っていただければ幸いです。

6月の主な予定

6月1日(月)	スクールバス運休日	6月18日(木)	フッ化物洗口 租税教室(高学年)
6月3日(水)	運動会総練習	6月19日(金)	委員会活動③
6月7日(日)	沢木小・2自治会合同大運動会	6月23日(火)	歯科検診
6月9日(火)	スクールバス運休日	6月26日(金)	クラブ活動②
6月11日(木)	花いっぱい運動 フッ化物洗口開始	6月27日(土)	おうむ産業観光まつり
6月12日(金)	クラブ活動①	6月28日(日)	おうむ産業観光まつり(沢木太鼓出演予定)
6月16日(火)	全校朝会	6月30日(火)	PTA役員会議②